

商 況

販 賣 旬 報 第 216 號 昭和 7 年 12 月 12 日

製 鐵 所 販 賣 部

2、3 月積先物協議會—小幅値上げ

月日場所 12 月 5 日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵所側、4 社及東西問屋

議 事 1) 2、3 月積先物賣出に關する件

山は見えた。其後の強氣材料として爲替安だけで、外注 cif は峠を越して前日より安値を報じ内地市場も一時的の狂態は醒めて、一日と沈靜状態に還り、目先 5 萬 5,000 吨や、7,000 吨などの大量入荷を氣構へて、俄然心境に變化を來し、前月迄の要望は市場安定の爲めに、不需要期には是非値上げしたいからと云ふのが、今月に入ると豹變して全部据置き希望となつた。

2、3 月積先物協議會

品 種	入電 沖濱	河岸着値段 (爲替 \$20— $\frac{1}{4}$) $\frac{1}{2}$ — $\frac{5}{16}$)	希望	決定	備考
角 鋼 ベース	\$ 1680	¥ 10818	90'00	93'00	3圓上げ
平鋼(本所分野)	1680	10818	90'00	93'00	"
大型 山形 鋼	1660	107'22	90'00	93'00	"
工 形 鋼	1465	97'74	85'00	87'00	2 圓"
溝形鋼(吋寸法)	1850	117'45	103'00	105'00	圓"
" (耗寸法)	1465	96'74	88'00	90'00	圓"
丸 鋼 ベース	\$ 1680	¥ 10818			
" 9mm	1860	114'03			
中小型 山鋼形	1680	10818			
鋼板 6mm以上	1850	116'46			
" 45mm	1850	116'46			
" 32mm	2100	128'60			
" 23mm	2265	143'22			
" 16mm	2345	147'35			
線材 B.W.G.No.5	2400	143'19			
黒 薄 鋼 板 12-5-0	241'05				
鉄力板 170lbs	1-13-9	28'81			
" 100lbs	0-18-4	15'70			

當所としては外注値段より見れば未だ大幅の値開きはあるも買手の自重論にも充分の理由も見出さるゝを以て彼此參酌し、又外注値段との均衡整理の意味を加へ、且又近き將來に當然見舞はるべき運命にある反動に備ふる爲め 2 圓又は 3 圓値上げに決定した。

2) 附帶希望 1. 積出は契約期通り履行願度 2. 丸、角、平鋼等の結束を嚴重に願度 と云ふ希望が買手側から提出された。

(1) は前月協議會の際にも質問が出て其に答へたと同様今の處積出は至極順調に進捗して居るから將來も大した積遅れは無い筈である (2)は精々注意すべし。

1、2 月積の申込に就ては種々雑多な憶測が加へられたが蓋を開けた數量は別表の通り約 7,000 吨である。前月の 4 萬 5,000 吨と比較して市場の先行に對する期待も窺はれるし、戒心の程度も察せられる。

1、2 月積先物申込高

揚 品 名	東 京	大 阪	名古屋	其 他	合 計
角 鋼	—	—	30	—	30
平 鋼	10	—	—	—	10
等 山	200	500	—	—	700
不 山	240	460	—	—	700
溝 形	450	960	40	70	1,520
工 形	1,300	2,581	50	10	3,941
合 計	2,200	4,501	120	80	6,901

1、2 月積先物引受高

	1,2小形	1 中	2 中	1 大	2、3 大	4 型	合 計
角 鋼	—	—	30	—	—	—	30
平 鋼	—	10	—	—	—	—	10
等 山	—	—	—	—	700	—	700
不 山	—	210	70	—	106	320	706
溝 形	—	—	311	437	574	198	1,520
工 形	—	—	—	—	3,525	410	3,935
合 計	—	220	411	437	4,905	928	6,901

然し數量のみから觀察した過去の單純な經驗から見れば此 7,000 吨も過重の感があるが、此れでも未だ不足だと訴へるものがある處を見ると、そうそう非觀の要もあるまいが兎に角一應は氣に掛るがそれよりも焦眉の急として外注を上廻る市場の熱を冷す意味から全部引受けることに決定した。

1、2 月積鉄力板賣出協議會—小幅値げ

月日場所 11 月 7 日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、4 社東西問屋

議 事 1、2 月積鉄力板賣出に關する件

標準たるべき外注値段は其後聊か軟化の道程を通り初めたので爲替關係で河岸着は大して變らないが、前途薄氣味悪く感じ出して、据置きを要望し。然し腹の底は年末ではあるし、下手に賣出値段でも値下りとなれば、買氣の銷磨と云ふ恐るべきものが現出するので若干は上げて欲しいと云ふことがと云はず語らずの間に物語られて居るので當所としても環境と底意を調和し、100 封度 20 錢、170 封度 40 錢と云ふ至極穩健なる値上げをなした。

決定値段 100 封度 14 圓 50 錢 20 錢上げ

170 封度 26 圓 80 錢 40 錢上げ

數量は先月通り 800 吨程度の賣出しとした。

外 注 値 段

	(100 lbs)	(170 lbs)
C. I. F. price	$\frac{3}{4}$ d	£ 1-12-9
Exchange (@ $\frac{1}{4}$ — $\frac{3}{4}$ d)	¥ 14'07	¥ 26'09
Interest (1.3%)	'18	'34
Duty	'72	1'22
Oharge	'08	'15
	¥ 15'05	¥ 27'80

1、2 月積中型山形共販賣出理事會—13 圓上げ

月日場所 11 月 28 日 製鐵所東京出張所

出席者 鋼管、東海、製鐵及定期團

議 事 1) 揚地別割當數量に對する定期團申込

去る 11 月 9 日 定期契約の繼續に關して協議せられた際賣出數量は 6,000 吨乃至 7,000 吨となつてゐたが定期團より 地域別振當を次の通り致度旨申出あり之に對しメーカー側即次引受けた。

6,000 吨の場合 7,000 吨の場合

揚 地	割當數量	割當數量	引受所社
東 京	2,700 吨	3,150 吨	日本鋼管
大 阪	3,020 吨	3,570 吨	東海及製鐵
名 古 屋	280 吨	280 吨	{ 100 吨は日本
計	6,000 吨	7,000 吨	鋼管残は製鐵

2) 1、2 月積賣出値段 定期團希望 東西共に市中相場は 90 圓を越してゐるがアウトサイダーの製品が安賣されてゐるとの聲も有り且つ今後も各寸法に亘つて賣出されるかと言はれてゐるので定期

團としては充分警戒の要があつて或はメーカーの思惑との距離があるかも知れぬが今回は丸鋼を標準として 83 圓を希望するとの事であつた。

共販意見 前回は 2 ケ月に亘つて同値に賣出してゐるし原料は益々暴騰しつつあるので前回の建値に對する値上げの程度如何に關せず現在としては 90 圓程度を適當とする強硬意見もあつたが極端なる大幅値上げに對する兎角の批評も聞く折柄なので外注コストに關税を加はへざる程度に止むるを穩當とし且つ丸鋼とは別個獨自に建値するを原則として等邊 13 圓上げ不等邊 14 圓上げとする事に一致した。

斯くて共販側と定期團側との意見に相當の開きがあつたので中型山形の常習たる暗雲低迷して容易に最後案に到達せず定期團から一本値段の 86 圓説や共販提出の値段を容るゝも亂尺制を廢して定尺制に變更され度しとの條件が持出されたが遂に双方歩み寄つて次記の通り決定した。

値 段	亂 尺 物	定 尺 物	締 切
等邊 86 圓	鋼管及製鐵は 4 割	鋼管及製鐵は 6 割	12 月 3 日
不等邊 87 圓	東海は 5 割	東海は 5 割 (混入差支なし)	
28th Nov., 1932			
外 註 値 段			
@ \$ 27 7/8		\$ 17.00	
Duty		¥ 81.44	
Charge		25.06	
		1.90	
Per long ton		¥ 108.40	
Per Kilo ton		106.69	

2、3 月積中板共販理事會—値上げ

月日場所 12 月 5 日 製鐵所東京出張所

出席者 東海、製鐵及 4 社

議 事 2、3 月積賣出に關する件

外注値段の c.i.f. は前月より見る時は若干安値を報ずるも其は爲替安で相殺して河岸着としては前月と殆んど變らず。

前月迄は共販の高値發表は外注刺戟の材料となる恐れがあつたので共販のみを頼りとして居る者を保護する意味から外注値段と充分鞘を有して居たが、今となつては其心配も消え、市場も一時から見ると世が變つた様に冷靜になつたから今回は相當外注に追從して概ね 10 圓程度の値上げして欲しいと云ふ買手の希望があつた。

賣手として他鋼材との均衡や、1 中板と 2 中板物の關税の保護程度を考慮し、又一方外注値段との開きを整理する意味も加へ、23 45 に就ては買手の要望を抑え 5 圓乃至 10 圓の値上げに留めた。數量は 1 中板 1,500 噸 2 中板 1,000 噸 計 2,500 噸の賣出しとしたが、之は今迄の積遅れ數量や輸入氣構へ、市場の趨勢、工場能力から判斷して概ね適當と思はるゝ數字である。

5th. Dec., 1932

Feb/March Shipment			
		希望	決定
16mm \$ 23.00	¥ 145.16	¥ 125.00	125 10 圓上げ
23 22.10	140.79	133.00	120 7 "
32 20.50	126.18	110.00	110 10 "
45 18.50	116.44	105.00	103 5 "
Ex. rate \$ 20 3/4			

1、2 月積線材共販賣出理事會—5 圓値上げ

月日場所 12 月 9 日 東京丸ノ内會館

出席者 神戸製鋼、製鐵及 4 社

議 事 1、2 月積賣出に關する件

(1) 値段 今日迄の處は Syndicate price には變化なく不相變

24 弗を唱へ、爲替關係は本日より硬化して 20 弗 7/8 の寄付を見たるも一般の勢は前月の理事會以後不味となりたり、即ち(1) シンデケートとしては是非賣りたい意向で相當安値にて賣向ふ氣配も見え又採算上下餘地あるものと見られ、(2) 之に反し製品の需要拂々しからず原料に反抗して結局原料高の製品安となり得る公算多きのみならず、(3) アウトサイダーたる吾輩精鋼のものも先月より其鋭鋒を現はし來たりたる状態なるを以て以上を綜合して加工業者としては一應据置き希望なるも、一方外注との値開き等を考慮する時はそれもあまりに偏する嫌ある故漸進する意味より是非 5 圓程度の値上げに留められたし。輸出向に就てはその値段なれば in bond の値段と對稱して今回は格差を附せぬこととしたし。

(2) 數量 輸出の格差を撤廢したる關係上内地向輸出向と云はず 10,000 噸賣出を希望すと云ふのが買手の希望であつた。

値段は輸入値段との間には可なりの開きはあるも業界の爲め自重し、買手の要望通り 5 圓上げに止め次の通り決定した。

1、2 月積線材 110 圓 (5 圓上げ) (製鐵)

數量は未だ相當の積遅れも擁し前月の賣出も若干無理をしたる點もあり且今回は年末始を控へて工場の作業能率も低下する時機なれば次記の通り 9,000 噸に留めた。

製鐵所 5,000 噸 神戸製鋼 4,000 噸
締切は無意味なるを以て、賣手側にて直ちに割當てすることに一致を見た。

Wire Rods

January Shipment

Dec. 9, 1932

C. I. F.	\$ 24.00
Exch. \$ 20 5/8	¥ 114.97
Int 1.3%	1.49
Charge	.90
	¥ 117.36
	115.63 per 1,000 kgs in bond
Duty	21.67
	¥ 137.30

ブラツセル齋藤囑託通信

12 月 11 日 入電 市場下押氣配相場次の通り

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S.)
2-17-0	2-15-0	2-17-0	2-7-0
鋼板(3%)	シートバー	ビレット	
	(assorted)	(4")	
3-5-0	2-3-0	2-1-0	

11 月 11 日 發信 先週水曜日は宗教上のレ、モール祭當日に當り休市、今週の市況は引續き好況を呈し愈々強氣一點張り相成り各輸出市場も活氣を帶び只南米方面幾分買弱りの外上海方面へ今週は多量の棒鋼の商内出來を傳へ居候

	Export	Inland
Bars (base)	£ 3-0-0	fr 545
Angles (heavy)	2-18-0	545
" (med./small)	3-1-0	—
Joist (N. S.)	2-5-6	550
" (B. S.)	2-8-0	520
Hoops (base)	3-11-0	675
Wire Rod	4-15-0	600
Plates (5mm or 3/16")	3-6-0	620
Billetes (4")	2-2-6	400
Sheet bars (assort)	2-4-6	410

東西市況—一段落

大型物や中板は未だ居處が高過ぎる様ではあるが、概観して一應一段落の感がある。僅々 2 ケ月間に奈落より九天に飛び上つた鋼材市場は 11 月に入ると共に反落時代に入り、1 ケ月を経過したが

非常時の反落は常のそれとは異つて色々な、支柱もあつた爲め懸念された程の急落もなく調子よく平均されて今日に及んだ。

今旬は思惑買と見るべきものも影を潜め、平均した入用買で至極静穩に推移して底意も相當堅いと見られて居る。

具先行の弱氣材料としては 9 月頃から跳び付いた 買物が追々と入荷を見るので之が如何なる程度に作用するか茲許 3、4 ヶ月間は誠に氣懸りと見られて居る。

東京市況

丸鋼 6mm は 12mm のエキストラ 5 圓の聲を聞いて伸鐵が其方に勢力を集中し初めたので、東京着 8 圓 50 銭が一躍 9 圓に上離れた爲戻りとなり、9mm は例の利喰物が跡を絶たないが、それにしても可もなく不可もないと云ふ程度を保ち 12mm は品薄を續けて居るのとエキストラにより堅調。ベース物は完全に組合の手中に在るので 9 圓は 9 圓で金縛り、中丸以上は最低 9 圓 80 銭 50mm 60mm 65mm 品薄に高値唱へて見られて居る。

角、平鋼 角の 9mm 12mm が伸鐵物で時々變る外は無風状態で最低 8 圓 70 銭位を保つて小幅に動き、平は 8 圓 70 銭は買と云ふ位で角と同様平穩無事を傳へられて居る。

型钢 小型山形はどうやら消化されて居る模様で大體 10 圓 30 銭以下無しと見られ中山は一時 9 圓 2、40 銭位陷落したが入荷不順調と賣行も相當と見て小反撥を見、大型山は前旬と變らず保合を續け、溝、工は概念としては入荷に連れ軟化と睨まれて居るが、1 萬 5,000 吨だ、7,000 吨だと云ふ聲に大部神経が鋭敏になつて居る爲め、在るとなると安い、無い物は取れと云ふ主義で高値唱へとなつて居るので相場は區々亂調子を繰り返して居ると云はれて居る。

鋼板 中板類は此邊で一進一退を續けて居る、即ち入荷があつた實際はそれ賣れと 1、2 圓方で押すが、それが消えるとまた、そろそろ擡頭して來ると云ふ有様で浮沈常なく、15 圓を中心として動いて居る、之に反し厚板類は相當期待は持たれて居るが表面にはそれほど現はれず強保合と見られて居る。

大阪市況

丸鋼 師走來一 1932 年の我鋼材界を振返つて見れば實に波瀾の多い年であつた。即ち或時はハツとしたり、又或時はホツとしたりその度毎に何やらの上げ下げ心理を利用して、賣つたり買つたり、儲けたり損したりしつゝ現在に及んでやつと落付きを見るにいたつた。こういふうしろ姿をクロウアップしてゆく年の聲音が次第に近く聞えてくる。當大阪市場にも何だかそれはした様子が覗はれるがその反面に於て昨今の鐵鋼市場の堅實性を見のがすことは出来ない。

細丸は伸鐵工場の増産に加へて本月は大節期を控へてゐるので金融の關係上相場は伸びない、8mm は 8 圓 70 銭見當、9mm は先般當所よりの安値品の入荷のため幾分軟化したのがこれも殆んど消化されたので相場は 8 圓 90 銭弱みに落付。12mm は民間分野のものであるが材料の關係もあり且つ相當荷動きもあるので氣配は戻り。ベース物は先旬一舉に値上げを見たが メーカーも 9 圓以下には賣應ぜざるため昨今は安値物あさり乍ら相場は比較的カツチリとしてゐる。中丸は一時行過ぎの觀ありしが昨今では稍々訂正されたやうである。太丸は 13 圓見當を唱へられてゐる。

かゝる中へ遅れ荷の着く師走かな

角、平鋼 角鋼は定期組合でコントロールしてゐるので比較的堅實な足取りを見せてゐるが弗々利喰物もあるので相場は伸力に乏しいやうであるが先づ 9 圓見當に保合つてゐる。平鋼は伸鐵方面

も材料高にて安値には賣應ぜざるためと當所よりの荷廻りも順調でないので市中相場は高い。

型钢 小形アングルは當所よりの出廻り不順調に加へて伸鐵方面も材料の關係上増産不可能なる状態にあるので相場は 10 圓 50 銭カツチリを唱へられてゐる。而して目下不需要期であるので荷動きは捗々しからず。中型アングルは丸鋼の落潮に連れて急反落を演じたが昨今では幾分見直し 11 圓見當を唱へられ、目先としても急激の變化はあるまい。6×50 は極單なる品掠れにて目下 12 圓 50 銭見當を唱へられてゐるが目先入荷懸念で當分急反撥はあるまい。大形アングルは一時拂底してゐたが最近當所よりの積出しに市況も緩和されたい。溝形鋼 65×125 は品掠れにて目下 20 圓と目立つて高い。工形鋼は先づ可もなく不可もなし。

鋼板 1、2 中板は相變らず相當需要あり荷廻り不順調と相俟つて氣配は戻り乍ら目先外註品入荷の噂もあり買手も幾分警戒氣味と云はれてゐる。厚板は大口引合もあるが何分にもメーカーよりの荷廻り不順調なるため如何ともしがたく相變らず相場は騰勢を辿つてゐる。

線材 市中在庫はさして多い方ではなく製品も賣行良好なので賣手は強腰となり従つて相場は又復上向き歩調に轉じた様子である

鋳力板 170 封度ものは市中在庫は相當ある模様であるが何分にも割安の W・W のため押され氣味と云はれてゐる。100 封度ものは最近北海道方面より大口注文があつたため市中品薄となり出廻り不順調と相俟つて氣配は戻りを傳へられてゐる。

販賣旬報 第 217 號 昭和 7 年 12 月 24 日 製鐵所販賣部

昭和 7 年の回顧 日誌

1 月 昭和 6 年 12 月 13 日の金輸出禁止により 49 弗臺の爲替は連日暴落して一舉に 35.6 弗となる。各種鋼材一齊莽騰し、申込殺到す。海外不變、大底大底と云ふ乍らザリ食。巴里に於て工形鋼と半製品を統制目的とする國際鐵鋼販賣組合の再設置の議起る。

2 月 賣手、買手共に前月の狂態の後始末に恐れを抱き上海事件も材料とはならず、一般に小幅の値上となり、申込も減少す。昭和 6 年の鋼材需給發表さる、昭和 5 年に比し 50 萬吨減少して 170 萬吨臺となる。20 日に總選舉あり、月末に入るに及んで上海事件高調に達し戦争氣分となり丸鋼 6 圓臺に飛躍す。

3 月 爲替益々不安定となり、辛ふじて 30 弗臺を維持す。爲替安の爲め採算上鋼材も高値にはなるが、買氣を誘ふ程度には達せず一服状態なり。

4 月 關稅値上げ問題を新聞紙上に散見す。12、1 月の思惑買の反動を感じ、各種取扱も大體据置と云ふ天井に達し、申込も漸減し落潮が目立つ様になつた。

5 月 15 日犬養首相暗殺さる。爲替も 32、3 弗に固着し、海外も下押し、在庫は溜る、世相は不安に四苦八苦。各種鋼材の申込極度に減少し、小型山形 6、7 月積僅かに 153 吨、當所先物 1,600 吨と記録さる。海外も眞の大底に達し轉換の氣運見ゆ。

6 月 初旬、中旬迄は不況深刻、厚板の申込 583 吨、共販建値に値下げ頻々たり。從量關稅 3 割 5 分値上げ 16 日より實施されたるも市場無感覺。當所先物協議會 11 日名古屋に開かれ、先行豫想難で延期となり 28 日再開。關稅値上げを加味し珍らしく大幅値上げを行ひ市況好轉の契機を作る。吾嬌精鋼所鋼材聯合會に加入し、丸鋼界安定す。

7 月 轉換の曙光見え、先づ大型物好轉したるも丸鋼未だし、各

種共販の申込も 6 月を底として漸増の傾向見ゆ。關稅値上げを織込んで共販建値漸騰す。海外漸く好轉に傾き先行樂觀さる。

8 月 海外引き續き好調、内地も稍高値氣構へに満を持す。月末 27 日は正に紀念すべき日となつた。大型物先づ一齊高となり 30 日には 3、5 圓の奔騰を見た。

9 月 株式及商品益々奔騰し鐵鋼界にも好感を與へ、當所先物申込 1 萬 7,000 噸となる。初旬に於て總ての鋼材市中相場臺變り狂騰を續く、海外益々上伸し内地の好調に拍車を入れ、爲替安も加味し、皆大幅値上げを發表す。月末に到つて騰勢益々急、黑鉄共販も一舉 15 圓上げとなる。

10 月 鰻上りを續け其上伸鐵物解體船課税も解決し、益々好材料蜚集す。當所先物申込 5,000 噸、厚板申込 15 萬噸など云ふ不眞面目なる氣分横溢し始む。

11 月 11 月 1 日の市場は今回の暴騰の最高峰にて鋼材 100 圓以下なしと云ふ状態に達し其後反落時代に移り下旬保合となる。

50 錢の値上げに半日を費したる事もあるのに、近來の買手の希望は大部荒つぽくなつて 2、3 圓はどちらでもよいがと云ふ程度になつた。申込の殺到不已。中旬より海外騰勢一服となる。

12 月 海外反落を見る。外注との鞘寄せも一段落となり、然も cost も漸落に移りたる爲め共販値上げ皆小幅となる。市況は中旬以後小反撥を見せた。

昭和 7 年の歴史を語る諸表

洋鐵指數と物價平均指數

洋鐵	物價總平均
1 月	70 159.5
2 月	71 161.4
3 月	73 158.5
4 月	72 154.1
5 月	69 150.3
6 月	67 146.4
7 月	66 147.7
8 月	67 155.8
9 月	76 167.4
10 月	100 169.1
11 月	117 177.9
12 月	— —

爲替相場の変遷 (當所先物協議會の爲替を採る)

	對 英	對 米
1 月	$\frac{3}{8}-\frac{7}{8}$	$35-\frac{3}{8}$
2 月	$\frac{2}{8}-\frac{3}{8}$	$35-\frac{7}{8}$
3 月	$\frac{1}{8}-\frac{1}{2}$	$32-\frac{1}{2}$
4 月	$\frac{1}{8}-\frac{7}{8}$	$33-0$
5 月	$\frac{1}{8}-\frac{1}{2}$	$32-\frac{7}{8}$
6 月	$\frac{1}{8}-0$	$31-\frac{1}{8}$
7 月	$\frac{1}{8}-\frac{15}{16}$	$28-0$
8 月	$\frac{1}{8}-\frac{13}{16}$	$25-\frac{7}{8}$
9 月	$\frac{1}{4}-0$	$23-\frac{1}{4}$
10 月	$\frac{1}{4}-\frac{3}{4}$	$23-\frac{3}{8}$
11 月	$\frac{1}{8}-0$	$20-\frac{3}{4}$
12 月	$\frac{1}{2}-\frac{5}{8}$	$20-\frac{1}{4}$

外注値段の變化 (當所先物協議會の際に於ける河岸着換算)

鋼板ベース	棒鋼ベース
1 月	74.34 65.45
2 月	72.04 66.44
3 月	75.02 68.35
4 月	74.78 65.69
5 月	71.99 64.37
6 月	73.97 66.21
7 月	85.59 77.04
8 月	86.21 77.59
9 月	98.87 89.28
10 月	101.23 89.44
11 月	118.07 110.00
12 月	116.47 108.18

ブラッセル取引所輸出値段の推移(1ヶ月の平均)

工 形	棒 鋼
1 月	2-12-1½ 2-13-11
2 月	2-10-0 2-12-0
3 月	2-7-0 2-8-4
4 月	2-4-9 2-4-11
5 月	2-2-9 2-4-3
6 月	2-0-0 2-3-0
7 月	2-0-0 2-3-3
8 月	2-0-0 2-4-0
9 月	2-1-6 2-8-0
10 月	2-4-9 2-15-0
11 月	2-5-6 3-0-0
12 月	— —

内地値段の足取り

a メーカー 値段

	大型等山	鋼板 8mm 定尺	薄板 13 枚	線材 5.5mm
1 月	62.00	70	132	78.50
2 月	62.00	72	137	83.00
3 月	63.50	73	142	87.00
4 月	63.50	73	142	87.00
5 月	63.50	71	120	78.00
6 月	69.00	73	123	78.00
7 月	71.00	75	123	81.00
8 月	71.00	76	125	83.00
9 月	78.00	81	140	89.00
10 月	81.00	88	150	94.00
11 月	90.00	103	180	105.00
12 月	93.00	105	185	110.00

b 市中相場の比較 (上、中、下旬の東京市中相場平均)

	丸 鋼	等邊山形	大型山形
	19mm	75mm	130mm
1 月	5.97	6.47	6.27
2 月	6.00	6.27	6.25
3 月	6.12	6.47	6.52
4 月	6.00	7.23	6.37
5 月	5.80	6.47	6.27
6 月	5.58	6.17	6.13
7 月	5.49	6.17	6.78
8 月	5.38	5.98	6.97
9 月	6.40	7.07	9.00
10 月	7.90	10.43	10.38
11 月	9.17	11.10	11.00
12 月	9.35	10.15	10.50

申込と引受の一端(當所先物申込月にて積月にあらず)

	申 込	引 受
1 月	3,562	3,552
2 月	1,614	1,614
3 月	6,513	6,661
4 月	1,502	1,994
5 月	1,660	1,500
6 月	3,361	3,331
7 月	1,946	1,824
8 月	11,964	5,786
9 月	16,608	6,504
10 月	45,196	14,970
11 月	6,901	6,901
12 月	14,583	14,583

振りさけ見れば昭和 7 年の鐵鋼界は實に波瀾重疊の限りを盡したものである。昭和 4 年以來の落調の道程から眺むれば、昭和 7 年は上半期が其不況の繼續で後半期は轉換の機運見え、9 月より反動期に入つたと云ふ 2 期に分類出来るが、單に本年のみを摘出して見れば 3 月迄の金輪禁の空景氣時代と 6 月を中心とした眞の大底時代と 9 月以降の狂奔時代と云ふ 3 期に分たれる。

過去 4 ケ年に亘る幾月は寔に長夜の思がした。然るに 9 月以後の轉機は黎明の朗かさを通り越して、意氣正に天に冲する感があつて昭和 3 年のそれを凌ぎ、歐洲大戰に亞ぐ好況と云はれる程恵まれたものであつた。然らば何が原因して居るか。

世界經濟の動向が上期の終期に於て數年に亘る悲慘なる底入狀態を脱却して反動期に進展し物價は漸騰の趨勢に移り、株價の騰貴となり、米國スチール株の如きも年初 37、9 弗を彷徨したるものが 9 月 7 日に於ては 52 弗半と云ふ近來未曾有の高値を呼ぶに至つた。即ち概観すれば大なるカーブの大底より浮び上らんとする反動時機に入りたるものと斷定せられたこと、及び日本だけにすれば、此世界的な波動の變換期に乗つたことに加ふるに、インフレーションの進展、之に伴ふ爲替安及び事業界の復活等が全面的に好影響を與へた重要なものとして數ふことが出来る。

鐵鋼界のみとして考へても、歐洲鋼材も大底を唱へながら何年、本年上半期の如きは眞に血を吐く如き苦境に呻吟したが、窮すれば通ずで下半期に入つてより逐次好轉し我に好利戟を寄與した。其原因としてはローザンヌ會議の結果による獨逸の危機の脱却等が數へられては居るが、要するに之れも大きな眼から見れば一般經濟界と同様な何とも云へぬ力の綜合より來つた反動期の波紋と見るのが妥當と見られて居る。我國鐵鋼界も此波動説の範圍は脱することは出来ぬが、當面の直接原因として數へ上げれば、生産減、手當薄、特殊需要による因果的影響、關稅値上げ、海外値段の昂騰と爲替安、インフレーションによる需要の擡頭と換物思想などを綜合した結果に外ならないのである。

本年に於ける供給數量は未だ不明なるを以て斷言し得ざるも、上半期の業績より考察すれば、昭和 6 年のそれと大差なき様觀察せらる。我國最近の供給狀態は昭和 4 年迄は鰻上りに増加し、昭和 4 年は 250 萬噸を突破する盛況を呈したるも、5 年 6 年は極減して不況に對應し、6 年の如き一舉に 10 年の昔の轉落して 170 萬噸臺と云ふ激減を見、引き續き本年上半期に於ける慎重なる態度により漸く需給の調節を見ることが出来たのである。茲に注目するところは、今迄繰返し書き並べた内に「輸入」と云ふ一言も無かつたことである。之は筆者が強いて書かなかつたのではなく、實質上之を書く必要を認めなかつたのである。即ち一般市場向の鋼材として今日我鐵鋼界に影響を齎すべき輸入品としては賦力を除いては何

物もないと云ふても過言ではないのである。その鉄力も來年度に於ける製鐵所の 8 萬 5,000 吨の生産に依つて完全に外國品を驅逐することが出来るのである。其他は殆んど特殊の需要に依るものが大部分を占めて居るが、棒鋼に於ける特質鋼、線材に於ける高炭素鋼、鋼板に於ける優良品等も數年を俟たずして我手中に歸する目途があると思へば國家の爲め寧ろ喜ぶべき事象である。

斯く觀じ來れば昭和 7 年は我鐵鋼界にとりて正に記念すべき年である。全般的には稀有に恵まれたる年たと共に、自給自足の大目標も殆んど完全に達成せられ總ては飽和點に到達し、愈々鐵鋼國策確立の爲め正に轉換機に到着したと云ふ劃期的の年である。

「創成易守成難」總ては精進である。メーカーは關稅、爲替の蔭に隠れて徒に惰眠を貪ることなく、鐵商は昂騰の美酒に酔ふて徒に飽食することなく、共に共に當然來るべき反動に備ふべきである。然らざれば遠くは歐洲大戰後の如き、近くは昭和 4 年の如き苦汁を再び三度満喫しなければならぬ。

三 軌 會—据置

月日場所 12 月 10 日 製鐵所東京出張所
出席者 製鐵及三井、三菱
議 事 12、1 月積重軌條賣出に關する件
前月と市況大差なく外註も變らず、値下げすべき何等の理由なきと同様値上げる程の根據も見出せざるを以て前月据置きと決定した。一般賣(繼目板込) 130 圓(据置)

Heavy Rails & Splice bars only

I. R. M. A. Price (Average)

F. O. B.	£ 5-10-0	
Possible reduction	10-0	
Net	5-0-0	
Freight	1-5-0	
Cif. Japan	6-5-0	
@ \$ 46. ⁰⁰	\$ 30.38	
Ex. @ 20½	¥ 147.12	
Int. 1%	1.47	
Import Duty	21.71	
Land'g ch'gs.	0.80	
Per long ton	¥ 171.10	
Per kilo ton	168.44	Say ¥ 168.00

三 S 會—5 圓上げ

月日場所 12 月 13 日 製鐵所東京出張所
出席者 製鐵、三井、三菱、日立、高島屋
議 事 1、2 月積硅素鋼板賣出に關する件
別表外注値段は 20 弗半にて計算しあるも、本日は昂騰して 21 弗を唱へられたる爲め結局前月と大なる變化なく、一方需要關係は今回の經濟界の好轉が消費力の増加に伴ふ自然的の力強きものにあらざして、人爲的作爲が多分に含まるゝを以て軍需工業を對照とするものを除いては製品値上りが原料のそれに添はず申込も減少の有様で大體電氣業者等も飽和状態となり、特に電力會社の疲弊は三 S 會にとりて大打撃である。また當所品が餘りに高値となる時は他社品に侵蝕せらるゝ結果となるを以て今回は是非据置にせられたしとの買手希望であつた。當所としては未だ餘りに外注値段と懸隔しあるを以て若干鞘寄せしたき希望あり旁々据置きは一般鋼材の趨勢に逆行することゝなり、總ては需要を益々鎮磨せしむる虞あるを以て其に買手希望も加味して全部 5 圓上げと云ふ僅少な値上げに止めることゝした。

次 記 2 月積硅素鋼板決定値段

- (イ) 電働機用 B1 級品 { 函入のもの 1 吨に付 金 300 圓(5 圓上げ)
硅素鋼板 裸バンド 金 290 圓 }
(ロ) 電働機用 C1 級品 函入のもの " 金 320 圓(")
(ハ) 電働機用 D1 級品 函入のもの " 金 340 圓(")
(ニ) 變壓器用 T1 級品 函入のもの " 金 405 圓(")
硅素鋼板

(ホ) 2 級品 2 割以内混入差支なし

2 級品の賣價は各々 1 級品の 30 圓引

(ヘ) 硅素鋼板厚物は T 級品は金 15 圓引其の他のものは各種共金 10 圓引 締切 16 日

LATEST CURRENT PRICES OF ELECTRICAL

STEEL SHEETS

0.014" (0.35mm) × 3' × 6' Dec. 12th, Monday, 1932

	English (Ex. @ ¼, ½, d) Lohys Stalloy Special (T) (B)		German (Ex. @ \$20½) Bismarkhutte (B)
Cif. of C. & F.			
Yokohama	£ 27-3-9	£ 21-9-6	\$ 60.00
Exchange	¥ 435.37	¥ 340.75	¥ 292.68
Marine Ins. 0.7%	3.05	2.39	2.05
Draft Interest 1.3%	5.66	4.43	3.80
Import duty	6.77	6.77	6.77
Landing charges	1.10	1.10	1.10
per long ton	¥ 451.95	355.44	¥ 306.40
per 1,000 kgs.	¥ 443.87	349.10	¥ 300.87

12、1 月積、1、2 月積 鉄力板の締切—狀態不變

12、1 月及 1、2 月積鉄力板も前回と同じく賣出當時既に申込の御芝居は中止と云ふ事となつてゐたので問題無く總て從來通り割當を完了した。本年に入つてから一時約 1 萬吨近く輸入されてゐたものが最近では 2、3,000 吨の輸入が常態となつたので、其の點から見るとは損得を超越して荷物が欲しい處であると云はれてゐるが、現在の内地生産力では特殊品質の鋼材と共に如何とも成し難い物なので多少の不自由は鉄力板界自身の爲と、今や成らんとする鉄力の獨立と、鐵鋼自足と云ふ國家觀念の上から茲しばらくの辛棒が願はしい。

12、1 月積鉄力板の引受數量表

社 別	區 分	引受數量		合計	備考
		100lbs	170lbs		
三三岩安	井菱井宅	69	161	230	前月通り
		57	133	190	
		57	133	190	
		57	133	190	
		計	240	560	

1、2 月積鉄力板の引受數量表

社 別	區 分	引受數量		合計	備考
		100lbs	170lbs		
三三岩安	井菱井宅	69	161	230	前月通り
		57	133	190	
		57	133	190	
		57	133	190	
	計	240	560	800	

11、12 及 12、1 月積小型山形鋼の締切

本年に入つてからの小山界の申込狀態は 1、2 月積が大體景氣に誘はれて 4,000 吨、其の餘波が続いて 2、3 月積も、2,500 吨となり、其の後は 1,000 吨前後が市場の實力、續いて 5、6、7 月積の頃は極度の不況を映し例外的に 6、7 月積が 150 吨と云ふ情無い姿を示したが、今回の好況に至るまでは 1,000 吨前後以下が大體の標

準であつた。

斯くて今回の好況来となつたので 10、11 月積は 4,000 吨を突破したが、此の数量は勿論常態ではなく、現在の市況としても落ち着いた處は、そして常識に於て相應と考へられる處は 11、12 及 12、1 月積に示す 2,000 吨前後ではあるまいかと見られて居る。

聞く處に依れば其の後 1、2 月積の申込がすさまじく殺到してゐるとの事であるが、昨今の鐵鋼界の状況では常識又は標準を超越して激動するし、經濟界更生の過渡期にもあるので、今日の常態必ずしも明日のそれとはならないが、今回の申込状態に關する限り當時の環境に於ては總てノミナルと云ふ言葉が當てはまるのではあるまいか。

11、12 月積申込の中、大阪の 503 吨は非常に妙いやうであるが實際の申込數量は遙に多く、是れは極く切りつめた引受確實を豫想した數量との事である。引受數量は 1,000 吨臺の申込の場合は申込通り引受けられ、それ以上の場合は 1,000 吨を標準として引受けられてゐるので、此の點から見れば 11、12 月積の 535 吨は少い感があるが、之れは積遅れ緩和の爲と次回賣出が接迫してゐたので次回に持越された爲めである。11、12 月積の引受は丁度 1,000 吨でも無く不可も無い至極健全なる推移を示してゐる。

因に締切日、申込及引受状態は次の通りである。

11、12 月積申込及引受數量—締切日 10 月 20 日

東京	大阪	名古屋	門司其他	計
申込數量 1,415	503	100	39	2,057
引受數量 220	250	50	15	535

12、1 月積申込及引受數量—締切日 11 月 17 日

東京	大阪	名古屋	門司其他	計
申込數量 1,127	1,370	85	55	2,637
引受數量 407	490	60	43	1,000

1、2 月積小形山型共販賣出理事會—3 圓上げ

月日場所 12 月 13 日 製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井

議 事 1、2 月積小型山形賣出に關する件

1) 値段 入電は前月に比し他の鋼材の趨勢と同様 1、2 弗方漸落の傾向にあるも、共販値段は之と對比して未だ多分の懸隔あり、市中の反落も一段落となつて今日の狀態にては寧ろ小反撥を示すのみならず中山等他鋼材と比較しても相當値上げの餘地あり、何時も問題となる伸鐵も他鋼材に進出したる形勢と一般好調の爲め邪魔とならざる程度なるも、市場の變動も著しき時機なるを以て總ては例の通り理事長に一任して臨機の値上げ等をするこゝして不取敢今日 3 圓上げと云ふ微温的の値上げに留めることゝした。

2 賣出數量 前月通り約 1,000 吨の賣出をなすことに決定。

決 定 値 段

3mm×20mm	98 圓 (3 圓上げ)
3×25—5×30	93 圓 (")
5×40—6×45	88 圓 (")

2、3 月積厚板共販賣出理事會—2 圓上げ

日時場所 昭和 7 年 12 月 16 日 大阪中央電氣俱樂部

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵

議 事 買手代表として 4 社より外註値段は、三菱入電 18 弗 10 仙、換算 112 圓 38 錢 (20 弗 3/4) にて爲替は強保合 C.I.F. も最近低落傾向を示しつつ有り。共販建値 103 圓は既に 10 圓を餘すに足らざる實情なれば据置に願度しと希望有り。次いで理事會の議

事に入る。

Small Size Equal Angles Quotation

Tokio Oct. 13th. 1932.

Specification Hamburg tel. Exch. To-day's Jan./Feb. 12th. Dec.'32. @20 1/2 Market Price shipment

Specification	Hamburg tel.	Exch.	To-day's	Jan./Feb.
1/8" × 3/4" (3×20) G.	\$ 19.00	¥ 117.75	¥ 110.00	@ ¥ 98
1/8" × 1" (3×25)	18.40	114.88	105.00	
1/8" × 1 1/4" (3×30)	17.80	111.99	105.00	@ ¥ 93
1/8" × 1 1/2" (3×40)	18.30	114.39	105.00	
3/16" × 1 1/4" (5×30)	17.20	109.11	100.00	
3/16" × 1 1/2" (5×40)	17.00	108.15	98.00	
3/16" × 1 3/4" (4×45)	17.00	108.15	100.00	@ ¥ 88
1/4" × 1 1/2" (—)	16.75	106.95	100.00	
1/4" × 1 3/4" (6×45)	16.75	106.95	110.00	

Import duty ¥ 25.06 per K. T.

Charges & Int. 1.90 per K. T.

1、臨時引合に關する件 其の後臨時註文殺到し全能力を以ても到底受け切れざる狀態なれば 11 月 19 日以後臨時引合に對し一先オツプア—を中止し、一括内容を審査して取捨引合に應ずることゝせるに本日迄の引合高造船材 17,000 吨、其他 10,000 吨、總計 27,000 吨に達した。

2、先物賣出及隨時賣値段の件 現在の外註採算よりすれば開きも既に 8、9 圓内外にて上げ餘地はないかも知れぬが各社とも全能力を既に受註済なる現状に於ては 4、5 箇月先物を引受けることゝなり爲替關係、原料高等多分に將來の不安あれば多少の値上げは止むを得ざるべしとの意見に一致し次記の通り決定を見た。猶積月は前月が 12、1、2 月 積の受註をなしたる關係上、本月は 1 月積を除外し 2、3 月積とするこゝした。

(1) 先物 (イ) 値段(2、3月積) 耳附97圓(2圓上) 定尺105圓(")

厚 6 耗ものエキストラ 3 圓

(ロ) 締 切 日 12 月 22 日 (ハ) 發表理事會 12 月 24 日

(2) 隨時賣値段 (但標準値段) (イ) 無 規 格

耳 附 定 尺 切 板

100 圓(2 圓上) 107 圓(") 107 圓(")

厚さ 6 耗ものエキストラ 3 圓

3、締 切 12 月 22 日

外 注 値 段

Cif.	\$ 17.75
Ex.	20 3/4
Per K.T.	¥ 110.72

日本黑板共販 1、2 月積賣出理事會—内地向 5 圓上げ 輸出向 据置

日時場所 7 年 12 月 17 日 於大阪中央電氣俱樂部

出席者 各社外に 4 社

議 事 4 社希望として次記提案有り

1、値 段 外註値段は 1 月着物で税済 201 圓 80 錢で共販値段とは未だ充分の開きを見せているが、市場リードの意味合より漸進主義をとられ 5 圓上げの 185 圓に願度し、輸出向は 1 月入荷物 160 圓 26 錢であるから此の位の値段を希望したい處であるが 1 月積は 190 圓につくから中間をねらつて据置を希望する。

2、數 量 内地向 11,000 吨 輸出向 4,000 吨

最近輸出の引合多きに拘らず常に手控へておられ海外品に乗ぜられる現状であるから是非共 4,000 吨引受を希望する。

次いで理事會に入り多少の上げ餘地有れども來月に餘裕を残して 4 社希望通りの値段に決定、數量は申込を見て能力の出來得る限り引受けることゝせり。

決定値段	薄物	内地向	輸出向
13 枚物	185 圓(5圓上げ)	170 圓(据置)	
6 呎	187 圓(")	172 圓(")	
7 呎	190 圓(")	175 圓(")	
8 呎	190 圓(")	175 圓(")	
厚物	内地向	輸出向	
12 枚物	181 圓(5圓上げ)	166 圓(据置)	
11 枚物	179 圓(")	164 圓(")	
10 枚物	177 圓(")	162 圓(")	
9 枚物	175 圓(")	160 圓(")	
8 枚物	172 圓(")	157 圓(")	
7 枚物	170 圓(")	155 圓(")	
6 枚物	165 圓(")	150 圓(")	
5 枚物	162 圓(")	147 圓(")	
4 枚物	160 圓(")	145 圓(")	
3 枚物	155 圓(")	140 圓(")	

外註採算次の通り

British Black Steel Sheets

(Jan./Feb. Shipment)

For Export.

3' x 6' x 280 sheets	3' x 6' x 290 sheets	Narrows(29 1/2")
Four brand	Any brand	Four brand
cif. £ 12- 5-6	£ 11-12-6	£ 12- 0-6
Ex. 1/16 ¥ 195.59	¥ 185.23	¥ 191.60
Int. 1.3% 2.54	2.41	2.49
Charg s. .80	.80	.80
¥ 198.93	¥ 188.44	¥ 194.89
per sheet 0.7104	0.6497 5'450sh. ¥0.43308	590sh. ¥168.90
268 sheets ¥ 190.39	¥ 174.12 6'375 " 0.5197 325" 168.9	
	7'320 " 0.60903 276" 168.09	
	8'280 " 0.6960 246" 171.22	
Average.... ¥ 169.27		

British Black Steel Sheets

(Jan./Feb. Shipment)

For Domestic.

3' x 6' x 280 sheets	3' x 6' x 290 sheets	Narrow(29 1/2")
Four brand	Any brand	For brand
cif. £ 12- 5-6	£ 11-12-6	£ 12- 0-6
Ex. 1/16 ¥ 195.59	¥ 185.23	¥ 191.60
Int. 1.3% 2.54	2.41	2.49
Duty 43.50	43.50	43.50
Charges .80	.80	.80
¥ 242.43	¥ 231.94	¥ 238.39
per sheet 0.8658	0.7997 5'450sh. ¥0.5297 390sh. ¥206.58	
268 sheets ¥ 232.03	¥ 214.32 6'375 " 0.6357 325" 206.60	
	7'320 " 0.7449 276" 205.59	
	8'280 " 0.8513 246" 209.42	
Average.... ¥207.04		

締切日 来る 20 日正午 発表理事会 21 日正午

2、3 月積中型山形共販賣出理事會—5 圓上げ

月日場所 12 月 20 日 製鐵所東京出張所

出席者 鋼管、東海、製鐵及定期團

議事 (1) 2、3 月積賣出値段

買手側提案 別項外註値段表に見る通り爲替は前月と變らざるも cif cost は 1 弗 20 仙の暴落を見た。

一般鋼材も外註値段は近來頽勢を續け爲替も硬化に傾き、加之爲替管理の甚説も流布され居る際なれば、之に對しては相當關心を持つ必要あるを以てメーカーとしても可成慎重なる考慮を拂つて値段を決定せられたしと云ふ意見を述べるに留め、今回は買手として希望値段を提示せず、賣手側の意見を承り度し。と云ふ事であつた。

賣手としては一應今迄の慣例に隨ひ買手の希望を参考として聽取したしと申出で買手側は

等邊 88 圓 (2 圓上げ) 不等邊 89 圓 (")

と開陳された。

理事会では丸鋼及他鋼材との均衡も考慮し、買手の意見も加へて結局 等邊 91 圓 (5 圓上げ) 不等邊 92 圓 (")

と云ふことを提案し、兩者の意見の一致を見て本年最終の協議會を終了した。

2、締切 12 月 24 日

Quotaion for Chugata-Angle

(Feb. March shipment)

20th Dec. 1932

前回入電 (28th Nov.)

本日入電 (20th Dec.)

Cif. \$ 17.00	Cif. \$ 15.80
Ex. @ \$ 20 7/8 ¥ 81.44	Ex. @ \$ 20 7/8 ¥ 75.69
Duty 25.06	Duty 25.06
Charges 1.90	Charges 1.90
Per long ton 108.40	Per long ton 102.65
Per kilo ton 106.69	Per kilo ton 101.03
N.B. Ex. @ \$ 22.00 の場合 \$ 23.00 の場合 \$ 25.00 の場合	
Cif \$ 15.80	\$ 15.80
Per kilo ton ¥98.77	¥94.15 ¥88.74

1、2 月積線材の締切

先般賣出理事会の際斯る時に申込を受けた處で、どうせ無意義のものとなるから改めて締切理事会を開くことを止め、賣手側にて直に引受數量を割當てることになつてゐたが、其の數量を示せば下の通り

1、2 月積線材申込及引受高

向先	區別	申込高			引受高		
		神戸	製鐵所	計	神戸	製鐵所	計
内地向	東大	—	—	—	—	2,544	2,544
	名	—	—	—	4,000	2,146	6,146
	古	—	—	—	—	210	210
	八幡	—	—	—	—	100	100
計		—	—	—	4,000	5,000	9,000
輸出向		—	—	—	—	—	—

備考 申込受けなす直に割當す

11、月中三港輸入概況—青年期—常態

1) 9 月の 5,000 吨弱には及ばないが今月も亦 5,600 吨で輸入界元服後 2 度目の殊勳である。

線材は噸程には入らず比較的には先月と大差なかつたが、溝形、軌條、鋼管シートパイリング等が不相變絕對數の少い割に變化が激しく、差引先月より約 450 吨減少して 5,600 吨となつた。

來月は愈々線材の襲來が確實と云はれてゐるし、過般の狂騰狂場の影響を受けた物も入る頃なので果して何ういふ數字が現れるか豫斷されないが、輸入界の元服後即ち本年下期に入つてからの 1 ケ月の輸入平均數量が、6,800 吨なので、概念上今後の 1 ケ月の輸入數量は大體 5、6,000 吨を中心として動くを見てよいのではあるまいが。

然らば今月の輸入は常態と云ふべく、さりとは見事な若者振りとなつたものである。外注より生れ、外注に育てられ外注に左右された本邦鐵鋼界も今や殆ど自立の域に達したと云ふべく今後は生くるも死するも自らの覺悟と努力の如何に依るので、其の意味に於て本輸入概況の使命も一轉して只照魔鏡の役目を果せばよい事となつた。

のではあるまいか。

製鐵業始つて 40 年苦心慘憺今日の地歩を克ち得る事が出来たのであるが。1 本立の生活は今後である。

炭を負ふて郷關を出た若者が往々にして自ら求むる破滅の轍を踏まぬやうに仕度いものである。

2) 棒鋼は先月よりは多かつたが、先月が近年に於ける段違ひの少量で 6 年 4 月 290 吨より尚ほ 130 吨少く僅に 1 吨であつたから、今月の 296 吨はミニマムではあるまいか。

丸は中丸以上が多く品質は例に依り特殊物である。角、平は非常に少く只平の一幅前後が約 50 吨其他が 30 吨と比較的多く横濱に入つた事と、全部が特殊物と云ふ以外に取り立てゝ云ふべき何物もない。型物は全滅、横濱の溝形は造船材料である。

鋼板 0.7mm の以下の中神戸は全部特殊需用であるが、大阪の 188 吨の中 160 吨は 1.6mm から 4.5mm までの市場向、横濱の大部分も 1.6mm である。0.7mm 以下は神戸に只の 1 吨入つたきりで共販の威力と効果を如實に示してゐる。

鉄力は本年 9 月の約 10,000 吨を最高として順次落着いて最近では 2,300 吨程度を往來する状態となつたが、輸入全體の上から見れば線材と共に依然として、兩横綱で、總量の 45.5% を占めて居る。然し是れも現在の國內の能力では何とも致し方ないが、將來に驅逐の望が有る丈に楽しみである。

軌條、シートパイリング及鋼管は不相變數字の上だけでは激しい起伏を畫いてゐるが大觀すれば氣に掛ける物ではないのではあるまいか。軌條はエレベーター用、シートパイリングはラルセンの割高品、鋼管も特殊物の少量である。線材は先月來緊張して 1,000 吨から今月の 1,500 吨とジリジリと進出して來たが、是れは未だ特殊需要の影響で市場向の物は來月あたりに現れるのではあるまいかと云はれてゐる。其の内容も B.W.G. 00 番線 550 吨、2 番線 36 吨、3 番線 130 吨、5 番線 743 吨が大部分で、全部ハイカーボンの特殊物となつてゐるが、噂通りどうやら保税物に怪物がかくれてゐるらしい氣配もあるので、今後相當の警戒を要するのではあるまいか。

9、10、11 月中大陸市況

大陸鐵鋼界の不況は昭和 7 年 9 月 21 日英國が金輸禁止を中外に聲明してより加速度に深化し氣息奄々として、越年本年初頭には恐慌の相を示してゐたと言はれる英國金輸禁止前後に比しても遂に惡化して棒鋼ベースが 2-13-0 鋼板 3/16" が 3-5-0 となつて既に 7、8 志方の急落を示してゐたが、而も其の後幾度か大底を傳へられつゝ尚ほ落調依然として熄まず本年 8 月 11 日までは棒下げの一途をひた押しに下押して空前の安値となつた。

今となつて靜に回顧する時、比類なき不況の重壓に抗してよくも此處迄辿り來つたのであると其の總ての誘導力に對して敬意と讃辭を呈せざるを得ない。

左記ブラツセル取引所に於ける 1 月 6 日の本年初立會當時の相場と 8 月 11 日のそれを比較すれば此の間の消息を知る事が出来る。

	棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形 B.S.
1 月 6 日	2-13-0	2-13-0	2-14-0	2-13-0
8 月 11 日	2-2-0	2-2-0	2-3-0	2-1-0
低 落 額	0-11-0	0-11-0	0-11-0	0-12-0
	工形 N. P.	鋼板 3/16"	シートバー (assorted)	ビレット (4")
1 月 6 日	2-12-0	3-5-0	2-9-0	2-7-0
8 月 11 日	1-19-0	2-11-0	1-16-6	1-16-0
低 落 額	0-13-0	0-14-0	0-12-6	0-11-0

以上の如く本年に入つてから僅々 8 ヶ月の間に 11 志乃至 14 志

の暴落を演じ、悲劇の幕はいつ閉ざされるとも計り知られなかつたが遂に大陸にも春が來て 8 月 11 日を大詰として翻轉景氣は上向き反動的に急騰又狂奔 1 回の戻しもなく 11 月 9 日迄の 90 日間に棒鋼ベースの如きは 18 志の反撥を示した。騰勢次の通り。

	棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形 B. S.
8 月 11 日	2-2-0	2-2-0	2-3-0	2-1-0
10 月 26 日	3-0-0	2-17-6	3-0-0	2-9-0
昂 騰 額	0-18-0	0-15-6	0-17-0	0-8-0
	工形 N. P.	鋼板 3/16"	シートバー (assorted)	ビレット (4")
8 月 11 日	1-19-0	2-11-0	1-16-6	1-16-0
10 月 26 日	2-7-0	3-5-0	2-6-0	2-3-6
昂 騰 額	0-8-0	0-14-0	0-9-6	0-7-6

此の好轉の原因は 8 月中大陸市況の内に記したもの以外に米國株式及證券界の好轉（後に反動安の爲め弱氣材料となつたが）、白耳義及ルクセンブルグメーカー間の紳士協約成立、半製品に對する英國の大量引合等が擧げられて居る。

斯くて本年頭初以來急轉直下した大底から起き上り浮かび上り 11 月上旬には殆ど其値下りを取り戻したが、11 月中旬以後は稍々軟調に轉じて多少の不安を感じしめてゐる。然しそれまでの騰勢が休みなく而も急角度に上昇しただけに此の程度の反動はあり勝ちの事であるし、メーカーも餘力を蓄積したと云はれてゐるので再び極端なる不況は招來せずと見るのが常識とされ、尙又一般の購買力は従前と異なり内外共に底堅いものがあるが、今までに餘りにも買ひ進んだので相當満腹となり茲許一服の態となつたのに過ぎず、1、2 月の候を過ぎれば再び需要は喚起されるものと見られてゐる。

9、10、11 月中ブラツセル取引所に於ける成品市場の概況は次の通りである。

9 月 7 日 内外總ての市場に於て買氣増大の徴あり、殊に棒鋼、コンクリート用丸棒、山形及鋼板に著しい。デリバリーの期限は延長され白耳義メーカーの中には棒鋼に對して 10 週間の期限を附するものもある。鋼板の相場は一樣でないが概して先週より高値を唱へられてゐる。

9 月 14 日 白耳義、ルクセンブルグ及佛蘭西のメーカーは一樣に棒鋼の建値を 2-3-6 と發表して居る。工形に對しては大部分のメーカーが 6 片安を唱へ、山形は保合、線材は強調に、フープとストリップは弱含みである。鋼板 3/16" に對する「白耳義、ルクセンブルグ協約」の建値は堅持されてゐるが、3/16" は 1、2 メーカーの爲めに相場を崩されたと云はれてゐる。

9 月 21 日 蘭領印度、南亞及スカンジナビヤより少量の引合が有つたが概して商談少し。然しながら未だメーカーは安値に賣應する程弱い立場になつたので、はなはだコンクリート用丸棒とフープが稍下押したのみで、一方鋼板は益々堅調に 3/16", 1/2" の如き騰勢甚しきものがある。

9 月 28 日 鋼板、工形及棒鋼の最低賣出値段協約（白耳義、ルクセンブルグ間の）は明に鋼材一般の値段を高めるに貢獻してゐる。之れが因となつてか今日の市場に於ては殆ど總ての製品は一齊に強調を示してゐる。

10 月 15 日 相變らず棒鋼、コンクリート用丸棒、ボルト、ナット、concrete reinforcing bar, 工形 B.S.) 及鋼板の取引は旺盛であるが、工形(N.P.) フープ及ストリップは閑散である。

鋼板が發表建値で取引されるのは發表と同時に僅か 1 日の餘裕も買手に許されなくなつた。ルクセンブルグメーカーは棒鋼の建値を 2-9-0 乃至 2-10-0 に引き下げたと云はれてゐる。

10月12日 棒鋼に對する買氣は益々強いが工形、山形及溝形は活氣稍減退したと見られて居る。最近となりフープに對する需要が擡頭したがストリップは益槍。鋼板は復々昂騰したので買手は買控へてゐるが、底意駈りと茲許騰勢熄まずと見られてゐる。要するに概して市場は益々堅調。

10月19日 工形を除き殆ど總ての鋼材に著しい買氣が集つて居る。ルクセンブルグメーカーは多分大幅値上げをなし、ベルギーメーカーも之に合流するであらうと云はれてゐる。

デリバリーは長期を要し、棒鋼は7、8週間でクラベックでさへ6週間で積出す事となつた。

10月26日 總ての市場に於て氣配益々好調であるが、棒鋼及工形のみは商談稍少し、線材は騰勢鮮に今日の取引開始當初は3—2—6であつたが、直ちに3—5—0と躍れ上つた。フープ底意駈りと高値を唱へてゐる。鋼板は相當纏つた數量が高値に取引されたと云はれてゐる。

11月9日 工形、山形、reinforcing bar、線材及フープの需要稍減退したが、棒鋼及鋼板は好調を持続してゐる。

デリバリーは復々延長され始め工形は6乃至8週を要するに至つたが、佛蘭西の或るメーカーは既に1月中旬頃まで契約を持つて居るとの事である。

11月16日 近來の買進みにも拘らず大部分の購買者は尙未だ手持が尠いと見られてゐるが、今日の取引は案外僅少であつた。但しフープとtube stripは例外である。ルクセンブルグメーカーは前實際組合再現を見越して建値を上げた。

フープの最低値段は3—15—0であるが、佛蘭西メーカーの中には4—0—0の呼値を唱へて居る向もある。鋼板の氣配弱含みであるがこれを以て市場將來の運命をトするのは早計であると云はれてゐる。

11月23日 棒鋼弱含みながら駈りて一般には2—18—0を唱へられてゐるが、2—19—0乃至3—0—0を唱へてゐる向もある。コンクリート用丸棒は2—17—6に取引されてゐる。

工形の落調は一段落となりN.P.の2—5—0は佛蘭西メーカーのみが唱へてゐる最低値段でシャレロア地方の某メーカーは尙未だ2—6—6を維持しB.S.は2—7—0乃至2—7—6と保合つてゐる。大型山形は弱含みで2—12—0乃至2—13—0で商談成立すると云はれてゐるが2—14—0乃至2—15—0の建値もあると云はれてゐる。線材の荷動き少く $\frac{3}{16}$ "乃至 $\frac{5}{16}$ "は3—4—0と3—4—6の間で取引されてゐるが3—3—0乃至3—4—0でも商談成立すると云はれてゐる。フープは復々上向き、一般に國際組合の實現を信ぜられてゐる。鋼板は氣配渉々しからず $\frac{3}{16}$ "、 $\frac{5}{16}$ "は稍不押したと云はれてゐる。

ブラッセル齋藤囑託通信 12月17日 入電

市場閑散。相場次の通り

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S.)
2—12—6	2—11—0	2—12—6	2—4—6
鋼 板	シートバー	ビレット	
($\frac{3}{16}$ ")	(assorted)	(4")	
3—0—0	2—1—6	2—0—0	

東 西 市 況 一 反 撥

去年は暮も暮、押しつまつた13日の金解禁で後の祟りも忘れて他力本願の美酒に酔つて越年したが、本年は前半期の地獄の苦難に引き換へて9月以後降つて湧いた好調に狂奔して狂氣亂舞の裏に年を送らんとして居る、來ん年も是非多幸なれ。

前旬に於て棒鋼類で8圓臺、山形鋼で9圓臺が弗々と現はれた

市場は此4、5日來丸鋼の硬化によつて棒鋼8圓臺は影を潜め、山形も市場で品不足の感を懷いた爲め10圓臺を恢復した程度の反撥を見た。荷動きも例年の歳末に比しては活潑で一般に春高豫想を氣構へて底意も駈りて此稀有の好況を謳歌しつゝ華かに暮るゝものと見られて居る。

東 京 市 況

丸 鋼 丸鋼組合は市中が9圓2、30錢迄行つたのに不相變9圓を建値として色々と策動したが、遂に關東共販に92圓に値上げされた爲め白木屋の焼けた16日に斷然9圓70錢に値上げた、市場は今の處自力よりも統制の力によつて此値段を保つて居るが、近々當然の成行となる様に見られて居る。9mmも伸鐵が高張つて居る爲め駈りとなり12mmは入荷なき爲め力強い反撥振りを見せて居る、中山以上も大阪へ引かれた爲め留守となつて小堅い。

角、平 鋼 メーカーは景氣のよい丸鋼に氣を取られて居る爲め角、平が手薄となるので丸鋼のお供をしてザリ高となり9圓臺に移ると云ふ堅實振りである。

型 鋼 中山は定期で數量を制限されて居る爲め品不足の感を懷いて、安値物は姿を消して10圓臺に反騰し大型山形、溝形、工形は當所の引受數量を眺めて腹の奥底深くには不安を藏して居る爲め暫く賣れぬと急落の氣分となるが、目先手持はあまりに豊富でないので買氣があると急騰して稍亂調子で、溝の65×125や工の100×200など突飛な値を呼んで居る。

鋼 板 中板類の浮沈は常なく、目先材料によつて操られ高低カーブを劃くに急である。今の處は16は3×6が他所で出来る爲め弱腰ではあるが、其他堅調23もビクビクながら之に追従し23のみは品薄に駈り、それよりも本旬は厚板が極度の品不足に硬化して概念16圓となつた。

大 阪 市 況

丸 鋼 我鋼材界が一齊にSOSの信號を發したのはつい3、4ヶ月前のことであつた。當時その電波を感受したるものは諸種の豫言放送をしたが、其後爲替安、インフレ景氣等の波にのつてボツボツ躍り始めそれが特殊な需要といふジャズの伴奏によつて益々拍車を加へられ相場は遂に200圓突破したのも現はれたのである。而し相場だからといつて不斷に動くと思ふのが間違ひで、たまには休養もせねばなるまいとあつて昨今では一部品切れものを除いて1933年の新年を目出度く迎へるべく暫らく休養季に這入つたかの感がある。

6mm、8mmは伸鐵方面も材料難で安値には賣應じないため市中相場は前者は9圓80錢後者は9圓70錢カツチリを唱へられてゐる。9mmは弗々格安品の入荷があるので他の丸鐵に比して稍々下値なるも賣行は良好である。12mmはエキストラ丈け高い。中丸は弗々入荷あるも完全に消化されてゐるので相場は10圓7、80錢と光つてゐる。太丸は最近造船方面よりの引合相當あるため氣配は強調を示してゐる。

易 占 に 恃 み し 悔 も 年 の 暮

角、平 鋼 角鋼の市中在庫は普通であるが他鋼材の好調を移して氣配は駈りを示し相場は9圓1、30錢を唱へられてゐる。平鋼 $\frac{3}{16}$ "は伸鐵材料高で相場は9圓50錢を境界に小高下を演じてゐる模様である。其他のものは當所よりの出廻り順調にて市中在庫は相當ある様子であるが、日用品の事としてH、つ昨今は地方よりの引合も相當あるので手堅き含みで保合つてゐる。

型 鋼 型鋼は過般の當所先物引受數量に對して當大阪市中では

兎や角の風評はあるが、目下のところ市況には何等の影響はない様である。小形アングルの市中在庫はさして多い方ではないやうであるが、昨今出足が急に鈍った様子で従つて相場も伸力に乏しい。中形アングルは引續き荷動き旺盛を極め市中品掠れと相俟つて氣配は又復硬化した模様である。就中 6×50, 6×65, 9×75 等は花形役者として躍つてゐる。大形アングルは最近建築方面よりの新規注文がなくなつたため場面は依然停頓の態と云はれてゐる。工形鋼並に溝形鋼は大形アングルの市況とほぼ同じであるが相場はアングルよりも幾分高い。

鋼板 1、2 中板は引續き賣行旺盛にて市中益々品薄となり、従つて相場は 15、6 圓以上を唱へられてゐるが、これとても目先外注品入荷懸念にて賣手は幾分弱腰のようでもある。厚板は目下シャ

ー方面に多少の手持はあるやうであるが、市中ストックは概して少く従て市中相場はカツチリしてゐる。

線材 例年 12 月は各製品工場共一番能率のあがる月であるので、ロッドの賣行も宜敷く市中品掠れと相俟つて氣配は先旬來一段と引締つて來たと云はれてゐる。

鋳力板 市況は前旬報告と大差なきも市中相場は相變らずジリ高歩調にある様子で、永い間下積みになつてゐた鋳力屋さんも來年はよいお正月を迎へることが出来るかとほくそ笑んでゐる。

販賣旬報の休刊

販賣旬報は例年の通り昭和 8 年 1 月 1 日附 10 日附の二旬を休刊し、1 月 21 日附より發行することとした。

9. 10. 11 月 大陸市況

	9 月 7 日	14 日	21 日	28 日	10 月 5 日	
Billels (4")	1-18-0	1-18-0	1-18-0	1-18-0	1-18-0 to 1-18-6	
id (2"-2½")	1-18-6	1-18-6	1-19-0	1-19-0	1-19-6 to 2- 0-0	
Sheet bars (assorted)	1-19-0 to 1-19-6	1-19-0 to 1-19-6	1-19-6	1-19-6	2- 0-0 to 2- 1-0	
Stee bars	2- 7-3	2- 8-6	2- 8-6	2- 8-6	2- 8-6	
Ferroconcrete roun'ds	2- 7-3	2- 7-6 to 2- 8-0	2- 7-6	2- 8-0	2- 8-0 to 2-8-6	
Jtist (stand. sect)	2- 2-0	2- 1-6	2- 1-6	2- 2-0	2- 2-0	
id (Brit. sect.)	2- 4-0	2- 3-6 to 2- 4-0	2- 3-6 to 2- 4-0	2- 3-6 to 2- 4-0	2- 3-6 to 2- 4-0	
Angles (heavy)	2- 7-6	2- 7-6	2- 7-6	2- 7-6	2- 7-6	
id (medium sized)	2- 9-0	2- 9-0	2- 9-0	2- 9-0	2- 9-0	
Small angles sharp edged	2-14-6	2-15-0	2-15-0	2-15-0	2-15-0	
Rods(assorted ¾"-¾")	2-14-0 to 2-15-0	2-16-0	2-16-0	2-16-0	2-16-0	
Hoops	3- 2-6	3- 0-0 to 3- 2-6	2-19-0 to 3- 0-0	2-19-0 to 3- 0-0	2-19-0 to 3- 0-0	
Tube strips	—	—	—	—	—	
Plates (¾")	2-15-0 to 2-17-6	2-17-6	2-17-6	2-17-6	2-18-6	
id (¾")	3- 0-0	3- 1-6 to 3- 2-3	3- 2-6	3- 2-6	3- 2-6	
Sheets (¾")	3- 7-6 to 3-10-0	3-10-0	3-15-0	3-15-0	3-15-0 to 3-17-0	
	12 日	19 日	26 日	11 月 9 日	16 日	23 日
Billets (4")	1-18-0 to 1-18-6	1-18-0 to 1-18-6	1-19-0 to 2- 0-0	2- 3-6 to 2- 4-0	2- 2-6 to 2- 3-0	2- 2-0 to 2- 3-0
id (2"-2½")	1-19-6 to 2- 0-0	1-19-0 to 2- 0-0	2- 1-0 to 2- 2-6	2- 5-0	2- 3-6 to 2- 4-0	2- 3-0 to 2- 3-6
Sheet bars (assorted)	2- 0-0 to 2- 1-0	2- 0-0 to 2- 1-0	2- 2-6 to 2- 5-0	2- 6-0	2- 5-0	2- 4-0 to 2- 5-0
Steel bars	2-11-0 to 2-11-0	2-12-6	2-17-6	3- 0-0	2-18-6 to 2-19-0	2-18-0 to
Ferroconcrete roun's	2-10-0	2-12-6	2-16-0 to 2-17-0	2-19-0	2-18-0 to 2-18-6	2-17-6
Joist (stand. sect)	2- 2-0 to 2- 2-6	2- 3-0 to 2- 4-0	2- 5-0	2- 7-0 to 2- 7-6	2- 5-0 to 2- 6-0	2- 5-0 to 2- 6-6
id (Brit. sect.)	2- 3-6 to 2- 4-0	2- 5-0 to 2- 6-0	2- 7-0	2- 9-0 to 2-10-0	2- 7-0 to 2- 9-0	2- 7-0 to 2- 8-0
Angles (heavy)	2- 7-6 to 2- 8-0	2-12-0 to 2-12-6	2-15-0 to 2-16-0	2-17-6	2-14-0 to 2-15-0	2-12-0 to 2-14-0
id (medium sized)	2- 9-0	2-15-0	2- 7-0	3- 0-0	2-18-0	2-17-6
Small angles(Sharp edged	2-15-0	3- 0-0	3- 3-0	3- 3-0 to	3- 2-0	3- 2-0
Rods (assorted ¾"-¾")	2-17-6	3- 0-0	3- 2-6 to 3- 5-0	3- 6-0	3- 6-0	3- 3-0 to 3- 5-0
Hoops	3- 2-6 to	3- 2-6 to 3- 4-0	3- 5-0 to 3- 7-6	3-10-0	3-15-0 to	4- 0-0
Tubes strips	—	—	Belg. Frs. 575	580 to 600	600	600
Plates (¾")	3- 0-0	3- 0-0	3- 2-6	3- 5-0 to 3- 7-6	3- 5-0 to 3- 6-0	3- 4-6 to 3- 5-0
id (¾")	3- 2-6 to 3- 5-0	3- 7-6	3-10-0	3-12-6	3-10-0 to 3-12-6	3- 9-6 to 3-11-0
Sheets (¾")	3-15-0 to 4- 0-0	4- 0-0	4- 0-0 to 4- 2-6	4- 0-0 to 4- 5-0	4- 0-0 to 4- 2-6	4- 0-0 to 4- 1-6

12 月上中旬線材薄板鋳力板輸入速報

品 名		上 旬				備 考		
區 分		神 戸	大 阪	横 濱	合 計			
線材	B.W.G.No. 5	—	10	357	367	神戸、大阪自 11 月 29 日至 12 月 8 日 横濱自 11 月 28 日至 12 月 7 日	前旬大阪港に於ける輸入 薄板なし 鋳力板 348 線材 No.5 なし 其 他 41	
	其 他	—	20	—	20			
	計	—	30	357	387			
薄板 0.7mm 以下		—	—	80	80			
鋳力板		193	88	495	776			
		中 旬						
線材	B.W.G.No. 5	110	—	—	110	神戸、大阪自 12 月 9 日至 12 月 17 日 横濱自 12 月 8 日至 12 月 16 日		
	其 他	86	21	—	107			
	計	196	21	—	217			
上 中 旬 計		196	51	357	604			
薄板 0.7mm 以下		—	—	—	—			
上 中 旬 計		—	—	80	80			
鋳力板		498	210	537	1,245			
上 中 旬 計		691	298	1,032	2,021			

東京大阪市中相場 (單位噸)

寸 法	12月上旬		12月中旬		月下旬	
	東京 12月 8日	大阪 12月 5日	東京 12月 19日	大阪 12月 15日	東京 月 日	大阪 月 日
丸 鋼						
6mm	9.70	9.20	10.20	9.80		
9	9.00	8.80	9.70	9.10		
12	9.40	9.10	10.10	9.50		
19	9.00	8.90	9.70	9.30		
25	"	"	"	"		
50	10.10	10.30	10.80	11.00		
65	10.20	"	"	11.30		
角 鋼						
9mm	9.20	9.10	9.50	9.50		
12	9.00	"	9.40	9.30		
15	8.90	9.00	9.30	9.00		
19	"	9.25	"	"		
38	"	9.20	"	"		
平 鋼						
6mm×38mm	8.95	9.10	9.50	9.20		
6×50	"	"	"	"		
6×75	"	9.20	"	9.00		
9×100	"	9.10	9.55	"		
12×100	"	9.20	"	"		
等 邊 山 形 鋼						
mm mm mm						
6×50×50	13.00	12.00	13.00	13.50		
6×65×65	10.00	10.00	11.50	10.50		
9×75×75	9.80	10.50	10.50	11.00		
5×130×130	10.50	"	"	10.50		
12×130×130	"	11.00	"	12.00		
15×150×150	"	10.50	"	10.50		
不 等 邊 山 形 鋼						
mm mm mm						
10×50×75	10.00	10.50	10.30	10.00		
10×75×100	9.80	"	10.50	10.80		
10×90×125	"	10.00	"	"		
9×100×150	10.50	"	"	10.50		
12×100×150	"	"	"	"		

寸 法	12月上旬		12月中旬		月下旬	
	東京 12月 8日	大阪 12月 5日	東京 12月 19日	大阪 12月 15日	東京 月 日	大阪 月 日
溝 形 鋼						
mm mm mm						
5×50×100	14.50	12.50	14.00	13.50		
6×65×125	16.00	20.00	19.00	20.00		
3/4×3'×6'	14.00	15.00	16.00	15.00		
3/8×3×8	12.50	11.00	12.00	11.00		
9×90×250mm	"	14.00	14.00	13.00		
10×90×300	"	14.00	13.00	15.50		
工 形 鋼						
mm mm mm						
5.5×75×150	11.50	11.00	12.00	11.50		
7×100×200	16.00	15.00	17.00	15.00		
9×150×300	12.50	14.00	14.00	14.00		
12×150×350	11.50	11.00	12.00	10.00		
10×125×250	12.50	13.00	14.00	13.00		
鋼 板						
mm						
1'6×3'×6'	15.00	15.50	16.00	16.00		
1'6×4×8	16.10	16.10	16.50	16.50		
3'2×4×8	15.00	15.00	17.00	15.50		
3'2×5×10	15.00	16.00	"	16.00		
6'0×4×8	14.50	15.00	16.00	15.00		
6'0×5×10	"	15.50	16.50	15.00		
9'0×4×8	14.00	14.50	16.00	14.30		
9'0×5×10	"	14.00	"	14.00		
薄 鋼 板 (13 枚)						
英	—	—	—	—		
川	68	68	72.5	70		
八	68	68	72.5	70		
鉄 力 板						
米 {170lbs	29.50	29.60	29.50	30.00		
{100	17.00	16.00	17.00	17.00		
{170	27.50	27.30	28.00	28.50		
英 {100	14.50	14.85	15.00	15.30		
{170	27.50	27.60	28.00	28.60		
八幡 {100	14.50	15.00	15.00	15.30		
線 材						
No. 5 #	115.00	123.00	125.00	123.00		

備考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は噸當り。鉄力板は 1 箱當り。

昭和 7 年 11 月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品 種	神 戸	大 阪	横 濱	11 月 計	前 月 計	本年累計	前 年 同 期 累計
丸 角 平 等 不 溝 工 鋼 板 (0.7mm 以下)	68 11 25 — — 11 — 39 1 798 — 141 — 193 1,288	38 — 5 — — — 188 — 583 — 41 225 — 2 1,082	50 18 81 — 1 — 117 — 1,189 20 1,350 — 11 447 3,284	156 29 111 — 1 — 344 1 2,570 20 1,532 225 12 642 5,654	109 2 48 70 — 247 — 111 2,605 785 1,191 21 383 388 6,092	6,481 1,254 4,868 741 542 537 607 6,592 10,737 49,647 3,773 18,871 9,245 5,142 7,726 126,763	8,587 1,456 4,870 439 230 438 1,743 5,796 17,191 37,580 4,349 55,198 7,249 8,155 7,168 160,449
硫 石 ナ ク	— 3 100 46	— — — —	— — 68 31	— 3 168 77	— 1 123 36	84,048 156 2,893 685	134,550 106 2,205 554

昭和 7 年 11 月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表

(單位噸)

[illegible]